

# C O R P O R A T E O U T L I N E 2018

<http://www.nittan.com/>

## ■会社概要

商 号 **ニッタン株式会社**  
**NITTAN COMPANY, LIMITED**

設立年月日 1925年(大正14年)12月1日(登記上)

創立年月日 1954年(昭和29年)12月15日

資本金 23億250万円

事業内容 消防用設備全搬の工事施工、機器販売及び保守点検業務

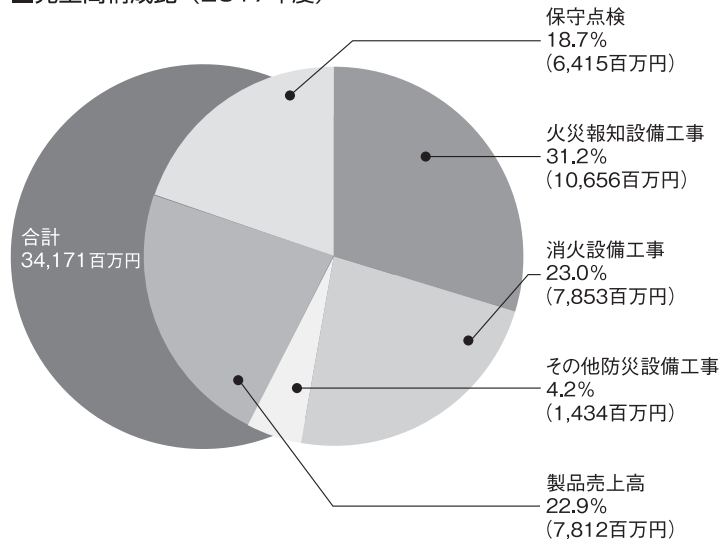
建設業許可番号 国土交通大臣許可(特-26)第2942号 消防施設工事業  
国土交通大臣許可(般-26)第2942号 管工事業、電気通信工事業  
国土交通大臣許可(般-29)第2942号 電気工事業

従業員数 815名(2018年3月31日現在)

役員等一覧

会長	北爪 敬治
取締役副会長	古川 顕一
代表取締役社長	板倉 秀樹
常務取締役上席執行役員	沖 昌徳
取締役上席執行役員	恒屋 隆之
取締役上席執行役員	中澤 徹
取締役上席執行役員	板谷 敏行
取締役	水口 敬伸
常勤監査役	小林 久宏
監査役	植松 則行
上席執行役員	中神 勝明
上席執行役員	堀部 正男
上席執行役員	大谷 隆
上席執行役員	大塚 秀範
執行役員	齋藤 勉
執行役員	吉川 直則
執行役員	丸 安行
執行役員	吉田 多雅

■売上高構成比(2017年度)



取引銀行 みずほ銀行 新宿法人支店  
三井住友銀行 笹塚支店  
三菱東京UFJ銀行 笹塚支店  
みずほ信託銀行 本店

- 昭和29年 日本火災探知器株式会社の商号の下に資本金50万円にて東京都渋谷区山下町において火災報知設備の開発、生産、販売、施工を主業として創立。
- 昭和31年 札幌営業所開設（現北海道支社）。
- 昭和32年 名古屋営業所開設（現中部支社）。福岡営業所開設（現九州支社）。
- 昭和34年 大阪営業所開設（現関西支社）。東京都杉並区和泉町に工場新設。
- 昭和35年 東京都杉並区和泉町に本社移転。
- 昭和36年 仙台営業所を開設（現東北支社）。
- 昭和39年 東京都渋谷区幡ヶ谷に本社ビル完成。広島営業所を開設（現中国支社）。住宅用火災警報器「マモール」の販売開始。
- 昭和40年 松山出張所を開設（現四国松山支社）。特殊精機㈱がニッタングループに参加、ニッタン精機㈱に商号変更。国産初のイオン化式煙感知器NID-18型が消防法の認定を得る。
- 昭和41年 ニッタン株式会社と商号を変更。
- 昭和42年 ニッタン電子㈱が設立されニッタングループに参加。イオン化式煙感知器NID-18型が米国のULおよびカナダのULCの認定を得る（国産初）。
- 昭和44年 エビス電工がニッタングループに参加、ニッタン電工㈱に商号変更。
- 昭和45年 株式額面変更のため、事実上の存続会社である当社が㈱共栄社（大正14年12月1日設立以来休業状態。S45.5.30ニッタン㈱に商号変更）に吸収合併される形態をとった。船舶用防災機器がABS(American Bureau of Shipping)の認定を得る。イオン化式煙感知器が英国FOCの認定を得る（国産初）。
- 昭和47年 英国にNITTAN(UK)LTD.を設立（現 NITTAN EUROPE LTD.）。
- 昭和49年 イオン化式煙感知器が日本舶用品検定協会HK認定を得る。受信機AMS型が米国のULより認定を得る（国産初）。
- 昭和50年 イオン化式煙感知器NID-48型が西独VDSより認可される（国産初）。
- 昭和53年 大阪、北海道、福岡、名古屋、広島にニッタンサービスセンター（NSC）を設立。住宅用煙感知器「けむたんちゃん」と熱感知器「ねつたんちゃん」の販売開始。住宅用煙感知器NRD-38Bが米国のULの認定を得る。
- 昭和54年 ㈱四国ニッタンサービスセンターを設立。業界初の光電式分離型感知器KLA-1を開発。
- 昭和55年 ㈱東北ニッタンサービスセンターを設立。
- 昭和56年 英国国務大臣がニッタン本社を表敬訪問。石油プラント用大型泡放射射砲装置第一号を横浜の石油工場に納入。
- 昭和58年 中華人民共和国北京市消防技術考察団がニッタン本社を訪問。
- 昭和59年 新R型防災システム（NF-1）が'84電設工業展で自治省消防庁長官賞を受賞。
- 昭和60年 航空機用煙感知器OIB-AFDを開発。
- 昭和61年 各種感知器が中国の認定を得る。
- 昭和62年 リアルタイム色別表示機能をもつ新防災システムを開発。
- 昭和63年 NF-1システム、多系統分散型の大型防災システムを開発。NHK放送センターに防災システムを納入。
- 平成元年 株式会社公開。
- 平成2年 埼玉県大和町に中央配送センター完成。
- 平成3年 炎感知器2VAが消防検定型式を取得。業界第一号。東京都第2本庁舎及び小牧ファンタジードームの防災システムにつき自治省消防庁長官賞を受賞。
- 平成4年 ニッタン電子㈱大和工場がISO 9002の認証を取得。（平成16年1月、ISO 9001に変更）
- 平成5年 埼玉県大和町に総合実験センター完成。上荻インテグラルタワー大林に納入した高度防災管理システムが消防庁長官賞を受賞。
- 平成6年 東京証券取引所市場第2部に株式を上場。ニッタン精機㈱伊丹工場がISO9002の認証を取得。（平成15年7月、ISO 9001に変更）スウェーデンにNITTAN SYSTEM ABを設立。
- 平成8年 なみはやドームに納入した大空間防災システムが消防庁長官賞を受賞。
- 平成11年 本社技術生産本部およびニッタン電子㈱横浜工場がISO 9001の認証を取得。小倉競馬場に納入した防災システムが消防庁長官賞を受賞。世界最大ドーム（当時）ロンドン・グリニッジ「ミレニアム・ドーム」にニッタンUK製アナログ式煙感知器を納入。
- 平成12年 ニッタン精機㈱に放水砲実験設備（100m放水可能）を新設。
- 平成13年 リング式表示灯（オムニビュー）がアメリカで特許を取得。
- 平成16年 本社地区がISO 14001の認証を取得。
- 平成17年 遠隔試験機能付2波長式感知器（2KW-P）が英国Fire Industry Award2005にてProduct Inovation Awards（製品革新技術大賞）を受賞。ニッタン電子 伊丹工場を新設（ニッタン精機 伊丹工場内）。10月1日 株式交換により㈱住生活グループ（東証1部）の子会社となる。
- 平成18年 「かんたん復旧」機能を搭載したR型防災システム（RXN-610、510、410）を開発。Consillium社（スウェーデン）との合弁会社コンシリウム・ニッタンマリーン㈱およびCN System ABを設立。
- 平成19年 JR東海新横浜駅ビルに納入したシステムが特殊消防用設備（ルートC）として業界初の総務大臣認定を得る。
- 平成20年 防災グッズ「あんしんたんちゃんシリーズ」販売開始。スーク海浜幕張に納入した閉鎖型噴霧消火設備（製品名：アクアフォース）が消防庁長官賞を受賞。
- 平成21年 住友スリーエム㈱富士小山事業所に納入したFK-5-1-12消火設備（製品名：ガーベラ）が消防庁長官賞を受賞。
- 平成22年 ニッタン電子㈱がニッタン精機を吸収合併し、生産部門を統合。
- 平成23年 株式会社LIXILニッタンと商号を変更。アクアフォース（閉鎖型噴霧消火設備）を納入した3物件と博多駅に納入した防災システムの合わせて4件が消防庁長官賞を同時受賞。
- 平成24年 4月1日 株式譲渡によりセコム㈱（東証1部）の子会社となる。ニッタン株式会社と商号を変更。本社事務所が東京都渋谷区笹塚のKDC笹塚ビルに移転。住友不動産 新宿グランドタワーに納入したアクアフォースが消防庁長官賞を受賞。
- 平成26年 EN規格に準拠した海外向け受信機「NF2000シリーズ」販売開始。VS（負圧湿式予作動）スプリンクラーが特定機器評価の型式評価を取得。横浜に実機訓練の設備を備えた研修センターを開設。
- 平成27年 UL規格に準拠した海外向け受信機「SPERAシリーズ」販売開始。
- 平成28年 業界初の感度試験を遠隔で行える外部試験器・煙感知器用感度試験器「MTT」を開発。関西電力病院に納入したアクアフォースが消防庁長官賞を受賞。
- 平成29年 ベトナムにNITTAN ASEAN CO.,LTDを設立。監視盤不要でセンサー一体型になった超高感度煙センサ（スタンダードローン型）NEM-912を開発。発信機と表示灯が一体化し薄型になった表示灯付フラット発信機を開発。国土強靱化貢献団体認証「レジリエンス認証」を業界で初めて取得。